

令和元年度PDA神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

開催日時：2019年11月2日（土）12:00-17:00

会場：神奈川県立横浜平沼高等学校

参加校：17校（横浜平沼、横浜翠嵐、横浜緑ヶ丘、光陵、大和、川和、柏陽、多摩、横須賀、鎌倉、湘南、小田原、茅ヶ崎北陵、相模原、厚木、希望ヶ丘、平塚江南）

参加者：生徒96名、教員71名

スタッフ：PDAスタッフ、一橋大学、九州大学、聖光学院教諭・PDA認定教育ジャッジ

主催：神奈川県教育委員会、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）

主管：学力向上進学重点校エントリー校連絡協議会 グローバル教育研究ワーキンググループ
4技能指導法研究グループ

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI財団

開会式では、神奈川県教育委員会高校教育企画室グローバル人材育成グループの田村指導主事より、「意見を明確に伝えること、アイコンタクトやスマイル、ジャッジの先生にリスペクトを示すことが大切です。これらを目標に頑張ってください。」と英語でメッセージが送られました。学力向上進学重点校エントリー校グローバルワーキンググループ代表であり、会場校である横浜平沼高校の校長である鑑先生からは、「チャレンジ精神が重要です。間違いを恐れず、大会を楽しんでください。」と英語でエールが送られました。



田村指導主事のご挨拶



鑑校長先生のご挨拶

次に、PDA代表理事である中川智皓（大阪府立大学工学研究科助教）より、「吉田松陰の言葉に『学びの賞味期限』という言葉があります。学んだという気持ちをすぐ行動に移すことで本の学びになります。今日もし学んだという気持ちが生まれたら、ぜひ学校に帰って実行に移してください。」と挨拶がありました。そのあと、17校の学校紹介があり、各校生徒が起立・一礼をしました。そして、昨年の神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会の様子を共有し、昨年の交流大会でトップ3だった横須賀高等学校、横浜翠嵐高等学校、横浜平沼高等学校よりトロフィーの返還が行われました。

最後に、ルールの復習、POIの確認を行い、早速1ラウンド目の対戦表が発表されました。



昨年度 1 位の横須賀高校のトロフィー返還



PDI (質疑応答) の練習

第 1 ラウンドのお題は「*Casinos in Japan will give us benefits than harm.* (カジノは日本に害よりも利益をもたらす。)」でした。ラスベガスの例などを提示しながら、中毒の問題やマネーロンダリングの問題、カジノにより街が活性化する、など様々な観点から議論が行われました。本日最初のラウンドでしたが、果敢に PDI をする生徒も見られました。



ジャッジの目を見てスピーチ



各テーブルにジャッジの先生がつきます

続く第 2 ラウンドのお題は、「*The English private-sector test should be introduced into the national university entrance examinations.* (大学入試への英語民間試験の導入を行うべきである。)」でした。大会前日に英語の民間試験が延期になったことが決定した、とてもホットなトピックに、論題を見た瞬間、会場はとても沸きました。生徒だけでなく、ジャッジの先生や見学の先生も、準備時間に意見交換をする様子が見られました。

ディベートが始まると、4 技能の重要性についてや、地方の生徒と都市部の生徒の不平等、金銭的な不平等など、大学受験を控えた生徒には身近な論題に様々な意見が飛び交いました。第 1 ラウンドよりも PDI(ディベート中に質疑応答をリクエストすることができるルール)が活発に飛び交い、わからなかったところを確認したり、相手の痛いところを突いた質問の応酬が繰り広げられました。



PDI で相手に質問します

次に、教員エキシビジョンディベートでは、生徒たちが実際にディベートを行った、第1ラウンドの論題「***The retirement system for teachers should be abolished.*** (教員の定年制を廃止すべきである。)」でディベートを行いました。教員を能力で評価するとなった際、能力は適正に測ることができるのか、年齢による差別は許されるのか、それとも投票権と同様に年齢で線が引くことが許されるのか、働いた後の楽しみや、定年の時期がわかっていたほうがより効果的に他の教員の育成ができるなどの議論がとても深い分析から展開されました。教員自身が教員の定年制について議論するという状況に、とても盛り上がったディベートとなりました。



選抜された教員によるエキシビジョンディベート

生徒のエキシビジョンディベートの論題は「***Japan should have nuclear weapons.*** (日本は核兵器を保有すべきである。)」でした。抑止力として働くのか、自国の安全は大丈夫か、など他の

国のケースなども用いながら説明がなされました。お互いに POI を活発に行い、その返しに会場が沸くこともありました。ディベートが終わるとお互いの健闘をたたえ、熱い握手が交わされました。また、今回のエキシビションディベートは今大会に来られた校長先生もメインジャッジと一緒にジャッジを行い、生徒のスピーチの観戦を行いました。



堂々と POI をしています



校長先生も一緒にジャッジを行いました

閉会式では、表彰が行われたあと、学力向上進学重点校エントリー校グローバルワーキンググループ代表・柏陽高等学校校長である井坂先生より「今回の論題でも登場した、英語の民間試験ですが、見送りが決定しましたね。しかし、京都大学の総長の先生や他の学校の校長先生と話す機会があった際、話題に上がったのはグローバル教育がマストであるということでした。これからもグローバル教育は重要だと思います。最後に頑張った自分自身に拍手して自分を労ってください。」とご講評と労いのお言葉をいただきました。



柏陽高校校長 井坂先生よりご講評

【表彰】

〈エキシビジョンディベータ賞〉

PM ——さん（柏陽）

MG ——さん（大和）

PMR ——さん（鎌倉）

LO ——さん（相模原）

MO ——さん（柏陽）

LOR ——さん（横浜翠嵐）



厚木校長先生 柏陽校長先生と

〈教員エキシビジョンディベータ賞〉

PM ——先生（多摩）

MG ——先生（相模原）

PMR ——先生（横須賀）

LO ——先生（平塚江南）

MO ——先生（柏陽）

LOR ——先生（相模原）



横浜平沼校長先生 横浜翠嵐校長先生と

〈チーム賞〉

1 位：相模原、2 位：柏陽、3 位：小田原、4 位：横浜翠嵐、5 位：大和



1 位 相模原高校

茅ヶ崎北陵校長先生 平塚江南校長先生と



2 位 柏陽高校

湘南校長先生と



3 位 小田原高校

小田原校長先生 鎌倉校長先生と



4 位 横浜翠嵐高校

横須賀校長先生と



5 位 大和高校

大和校長先生 横浜緑ヶ丘校長先生と

〈ベストディベーター賞〉

——（平塚江南）、——（相模原）、——（相模原）、
——（横須賀）、——（横浜平沼）、——（横浜緑ヶ丘）、
——（光陵）、——（横浜翠嵐）、——（横浜翠嵐）、
——（厚木）、——（厚木）、——（川和）、
——（大和）、——（柏陽）、——（柏陽）、
——（希望ヶ丘）、——（鎌倉）、——（小田原）、
——（小田原）



大和校長先生と

〈POI 賞〉

——（大和）、——（鎌倉）、——（相模原）、——（横須賀）
——（光陵）、——（横浜翠嵐）、——（厚木）、
——（川和）、——（柏陽）、——（平塚江南）



光陵校長先生と

参加者の声（アンケートより抜粋）

生徒の声

- 世界がどの方向に向かっているように考える機会になった。英語力の上昇につながった。【横浜翠嵐 1年】
- たくさん間違えた。でも、それに影響されずに喋れてとても嬉しい。また、いろんな人と話せるのは良い経験だった。【横浜翠嵐 1年】
- 少し緊張しましたが、とても楽しませていただきました。他校の方と交流することで、沢山の収穫を得ることができました。何よりも、英語力がとても上がったのを実感しました。【横浜平沼 1年】
- まわりの高校のレベルが高くて流石だなと思った。POI の量の多さに驚いた。【横浜平沼 1年】
- トピックになっていることが社会的に今話題になっているから、今回のイベントにとどまらず考え方を広げられると思う。英語力も考え方も向上できたのでよかった。【横浜緑ヶ丘 1年】
- 反論の仕方やフレーズの使い方などたくさん学ぶことができました。昨年の反省を踏まえて練習してきたことを発揮できて楽しかったしやりがいを感じました。【横浜緑ヶ丘 2年】
- 英語の流暢さに関係なく、論点をつければ勝てることを知れた。【光陵 2年】
- エキシビションのディベートがとても参考になった。【光陵 2年】
- 1つめの題が「カジノ」についてで、カジノについて基本知識が少なく、肯定側の立場として立論するのが難しかった。是非又参加したいです！【川和 1年】
- 自分の英語力を鍛えるために今回参加させていただきましたが、英語ではもちろん、それ以外のことでも自らの成長を感じられたのでとても良い経験になったと思います。【川和 1年】
- 色々な人のスピーチを聞いて、皆それぞれ話し方やスピーチ構造を工夫していることが伝わってきて、学ぶことが多かったし、楽しかった。【柏陽 1年】
- 大会でいつものようにスピーチすることの難しさを知ることができた。【柏陽 1年】
- 英語の外部試験の導入などタイムリーなモーションもあって面白かった。色々な学校の優秀なディベーターのスピーチも見れてとてもためになったし、そういう人達ともディベートしてみたいと思った。【横須賀 1年】
- 様々な意見が飛び交っていて、それらを catch して自分の思想に組み込み事ができるのが興味深い、たのしい。【横須賀 2年】
- 最後のエキシビションに選ばれなかったのは残念だが、POI 賞なども頂けて非常に楽しかった。他校からの刺激を沢山受け、更なる実力向上に向け、今後も頑張っていきたい。【鎌倉 2年】
- 楽しい！もっともっとがんばりたい！ 【鎌倉 2年】
- モーションに合わせた定義、立論や反論の仕方について色々と勉強になりました。【湘南 2年】
- エキシビションでやってた人とか、上手な人がとてもかっこよかったので、もっと頑張ろうという気持ちになった。【湘南 2年】
- 他の高校の理論立てやジャッジの人たちのアドバイスを今後の英語の授業等にかاشていきた

と思います。またエキシビジョンマッチの聞き取りが難しかったので、リスニングを強化していきたいと感じました。【小田原 2年】

- すごく情熱的に話す人がいて感動したし、カッコいいなと思ったし、見ていて楽しかった。【小田原 2年】
- 同世代の子が活躍しているところを見て、自分ももっと頑張らないとと感じ、とても刺激的な時間となって良かったです。【平塚江南 2年】
- 相手の話を聞いてから自分の話すことを考えることが、今まで準備したことを話すのがほとんどだったので新鮮でした。【平塚江南 2年】
- 2回戦のみの出場で緊張して声も手振りも小さくなってしまいました。しかし練習でできなかったところが成功して言いたいことを伝えられたのと、練習会でほめられたところを伸ばせたのが嬉しかったです。以前 swing で組んだり対戦したりした他校の生徒と励まし合うこともできました。自分の実力不足を改めて痛感したので、今日からもっと勉強を頑張ります。本当に楽しかったです。【茅ヶ崎北稜 2年】
- 今までは時間制限がある中で作文を作るのはあせってしまい苦手だったのですが、ディベートに参加することで克服でき、自分の意見を伝える楽しさを実感できました～【茅ヶ崎北稜 2年】
- 表現の仕方など、情報量以外での勝負が面白かった。単語や慣用表現などをもっと勉強していきたいと思った。教員と生徒のエキシビジョンマッチがすごく楽しかった。【相模原 1年】
- とても良い環境でディベートさせていただき、とてもありがたいです。【相模原 1年】
- 自分がまだまだできていない所が多く見られたし、何より聞き取れない事が多くて少し悔しかった。【希望ヶ丘 1年】
- 練習の時よりも、良く話すことが出来たと思う。【希望ヶ丘 2年】
- 他校のレベルに驚くと同時に、自分もこうなりたいなあと思った。【厚木 1年】
- ちゃんとした場で、緊張感がある現場だったから、いつもより集中できていつもより調子が良かったです。【厚木 2年】
- こんなにもたくさんの英語に囲まれる機会はただ学校に通っているだけではできない経験であり、とても楽しい経験になりました。POI 賞もとることができ、本当に、素晴らしいチャンスになりました。【大和 2年】
- 他校のディベートチームとのディスカッションは練習会、交流会などでやってきたけど、ここまで中身の白熱したものができたのは初めてです。【大和 1年】
- この大会に来ることが出来て良かったです。自分は見学としてこの大会に参加したのですが、学校では絶対見られない、感じられないものが本大会にありました。各学校のトップに近い人達の発表は、綺麗な発音、スピード、そして、POI の数など、色々な部分で刺激を受けました。【多摩 1年】
- 表現力が高かったり、考え方が広視野だったり、流れがとても上手だった人に出会えたり、色々な人から吸収できることがあって刺激でとても楽しかったです。【多摩 2年】

教員の声

- 興味深いモーションを作ってくださいありがとうございます。【光陵】
- 生徒が他校の人とディベートをし、考えを深めるとともに英語学習への意欲が高まっているようで大変有意義でした。【小田原】
- 生徒の貴重な交流の場になりました。今後も自分にできることを探し、実践していきたいです。【柏陽】
- 生徒のみなさんが一生懸命自信を持って、自分の意見を言おうとしている姿が素晴らしかったです。【横浜翠嵐】
- 4ラウンド脳みそをフルに使って疲れました。【川和】
- 昨年度も参加しましたが格段にレベルが上がっていました!!【相模原】
- 生徒にとって非常に良い機会になりました。このような機会を作っていただき誠にありがとうございます。ぜひたくさん先生のこの姿を見ていただき神奈川の英語教育の未来について大人が一生懸命考えるきっかけにしていきたいです。【鎌倉】
- 相手を説得するときの観点や論理性を高める訓練になると感じた。【横須賀】
- 知的な戦いを見ることができて刺激をいただきました。ホットな話題が取り上げられたことで、生徒たちは日々のニュースに敏感になろうとする意識をもったと思います。【横須賀】
- 練習会に比べて一人ひとりの成長を感じた。もし続けたらと思うとワクワクします。【平塚江南】
- 生徒たちそれぞれの成果を試す場、学力向上進学重点校エントリー校の生徒の交流の場として、見応えがあった。ジャッジの好評を真剣に聞いて、次に繋げようとする生徒の真摯な態度に感動した。知識を深めることを日々の営みとしてディベートの力を向上させていってほしい。【湘南】
- 生徒たちの顔が生き生きとしていました。他校の生徒さんとレベルの高いディベートをすることができ、とても良かったと思いました。【横浜緑ヶ丘】
- まさに communicative な活動を目の当たりにしました。こんな世界があるとは恥ずかしながら知りませんでした。日頃の英語学習の良いきっかけ(動機付け)になるものと考えます。【相模原】

保護者の声

- 神奈川県の高校がディベートに熱心に取り組んでいることがよく分かりました。来年も参加でき、さらに積極的に取り組めることを願います。
- みんな楽しそうに生き生きしていた。他校とのつながりができてよい。授業では学べないので貴重
- 英語の内容は理解できなくても雰囲気は活気あって良かった。
- ディベート大会をはじめてみました。神奈川県の子供たちの力を見ることができた。自分の学校以外の生徒たちと子供が、出会えて良かったと思いました。英語による表現が人によってさまざま、会場を渡り歩きましたが、とても良かったです。子どもたちにますます頑張ってもらいたいですね。(モチベーションがあがりそうですね)
- 高校生がのびのびとよく考える姿がすばらしかったです。